令和７年度 胆振総合振興局管内 河川減災対策・流域治水協議会

資料－３-1

令和6年度取組結果について
減災に係る取組方針に関するフォローアップ

○概ね5年で実施する取組（令和6年度の実施結果）

項目、事項、内容	課題番号	目標時期	胆振総合振興局 （室蘭建設管理部含む）	室蘭開発建設部	室蘭地方気象台	北海道警察本部	室蘭警察署	伊達警察署	苫小牧警察署	豊浦町	洞爺湖町	壮瞥町	伊達市
①円滑かつ迅速な避難のための取組													
①-1 情報伝達、避難計画等に関する取組													
① 洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイミングの確認	A	H30年度から	・洪水時に特化した危機管理型水位計設置に伴う河川水位情報の提供（川の防災情報）		必要に応じたタイムライン修正等の支援					・洪水時に特化した危機管理型水位計設置に伴う河川水位情報共有（川の防災情報）。 ・貫気別川・小鉾岸については川の防災情報により水位の情報共有をする。	・洪水時に特化した危機管理型水位計設置に伴う河川水位情報共有（川の防災情報）		・洪水時に特化した危機管理型水位計設置に伴う河川水位情報共有（川の防災情報）
② 避難指示等の発令対象区域、発令判断基準等の確認	B,C	H30年度から								令和5年度末に地域防災計画の改訂を行い、河川の浸水想定区域の設定と避難指示の発令基準を定めた。	住民への避難指示等の情報伝達方法、伝達内容について整理中である。		住民への避難指示等の情報伝達方法、伝達内容について整理中である。
③ 水害危険性（浸水想定及び河川水位等の情報）の周知	D,E	H29年度から	【水位周知河川】 ・最大規模の洪水に対する浸水想定区域図の作成、公表予定。 【その他道管理河川】 ・最大規模の洪水に対する洪水氾濫危険区域図の作成、提供。 【危機管理型水位計】 ・危機管理型水位計配置計画を順次検討・調整する。		・市町村の防災担当者と大雨事例における対応の振り返りを行い、意見交換を実施。					町HPにて周知を行っているが、令和7年度に作成予定のハザードマップにて更なる周知を行う予定。			
④ 隣接市町村等への広域避難体制の構築	F,G,H	H30年度から								今のところ、被害想定から、広域の避難は想定していない。	情報収集後、関係機関との調整を検討中である。		情報収集後、関係機関との調整を検討中である。
⑤ 要配慮者利用施設における避難場所の確保・訓練に関する取組を促進	I,J,K	H30年度から			・要望に応じて 訓練への支援実施。	警察主催による災害警備訓練実施時に、自治体や要配慮者施設等の参加・協力を得て、実戦的な要配慮者の避難支援に関する訓練に取り組む。	要配慮者利用者施設（職員、利用者）に対する、災害訓練実施支援及び防災講話等を実施し、発災時における対処能力及び平素からの防災意識の向上を図る。	要配慮者利用者施設（職員、利用者）に対する、災害訓練実施支援及び防災講話等を実施し、発災時における対処能力及び平素からの防災意識の向上を図る。	要配慮者利用者施設（職員、利用者）に対する、災害訓練実施支援及び防災講話等を実施し、発災時における対処能力及び平素からの防災意識の向上を図る。	未だ避難訓練について検討中である。	次年度以降の避難訓練について検討中である。		次年度以降の避難訓練について検討中である。
①-2 平時からの住民への周知・教育・訓練に関する事項													
① 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図等の共有	D,E,F	H29年度から								町のHPにて公表しているが、令和7年度のハザードマップ作製により、更なる周知を行えるように準備中。			
② ハザードマップの作成等、周知に係る取組	D,E,F	H30年度から	市町のハザードマップ等の作成支援を行う。							令和7年度の作成に向けて準備中。	令和7年度の作成。		未作成のものについて、作成を検討中である。
③ まるごとまちごとハザードマップの促進	D,E,F	H30年度から								ハザードマップ同様に令和7年度の作成に向けて準備中。	整備について検討中である。		整備について検討中である。
④ 住民、関係機関が連携した避難訓練等の充実	B,I,J,K	継続実施	防災イベントによるパネル展を通じた広報活動の実施。 市町の訓練支援実施。	講習会、研修、訓練を実施及び支援する予定。	・令和6年度防災情報に関する説明会実施。 ・要望に応じて訓練や研修会における講演実施。	自治体主催の防災訓練に参加するほか、警察の災害警備訓練に住民が参加する訓練を取り入れるなど、地域の災害対応能力を高める取組を行う。	関係自治体が実施する防災訓練への参加・支援を実施する。 また、自治体単位で実施する防災訓練の参加・支援や、防災講話等の実施を推進する。	関係自治体が実施する防災訓練への参加・支援を実施する。 また、自治体単位で実施する防災訓練の参加・支援や、防災講話等の実施を推進する。	関係自治体が実施する防災訓練への参加・支援を実施する。 また、自治体単位で実施する防災訓練の参加・支援や、防災講話等の実施を推進する。	未だ避難訓練について検討中である。			
⑤ 防災教育の促進	A,D	H30年度から	北海道地域防災マスター認定研修会の開催（8月） 教育素材を用いた防災教育の支援及び実施	関係機関と協力し対応する予定。	・1日防災学校等における防災講話実施		住民に対する防災教育のほか、警察署員に対する防災教育を推進し、有事の際の災害対処能力の向上を図る。	住民に対する防災教育のほか、警察署員に対する防災教育を推進し、有事の際の災害対処能力の向上を図る。	住民に対する防災教育のほか、警察署員に対する防災教育を推進し、有事の際の災害対処能力の向上を図る。	検討中。	各防災学習会において、洪水を含めた防災講話を実施。	小学校及び自治会、PTA連合会での防災教育の場を活用した火山噴火以外（洪水、土砂災害）の災害について言及	関係機関と協力し、市内各小・中学校において、防災教室を実施する。
①-3 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項													
① 水害リスクの高い地区に対して、洪水時の避難指示等の発令判断に活用する水位計（危機管理型）の整備	B,I,J,L	H30年度から	【危機管理型水位計】 ・危機管理型水位計配置計画を順次検討・調整する。										
② 堤防天端の保護（越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす対策）	R	継続実施	・安平川：引き続き堤防の天端保護（舗装）実施 ・堤防の天端保護（舗装）対象箇所の検討及び実施										
③ 防災資材備蓄施設の整備	N	H30年度から	防災資材備蓄施設の検討及び整備										
④ 避難場所、避難経路の整備	E,G,H	H30年度から								ハザードマップにも反映させることを検討中である。	ハザードマップにも反映させることを検討中である。		ハザードマップにも反映させることを検討中である。

〇概ね5年で実施する取組（令和6年度の実施結果）

項目、事項、内容	課題番号	目標時期	胆振総合振興局 （室蘭建設管理部含む）	室蘭開発建設部	室蘭地方気象台	北海道警察本部	室蘭警察署	伊達警察署	苫小牧警察署	豊浦町	洞爺湖町	壮瞥町	伊達市
②的確な水防活動のための取組													
②-1 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項													
① 重要水防箇所の確認	K,L,M	H30年度から				関係機関と連携し、情報共有に努める。	重要水防施設管理者と連携した情報共有体制を構築する。	重要水防施設管理者と連携した情報共有体制を構築する。	重要水防施設管理者と連携した情報共有体制を構築する。	必要に応じて河川管理者に情報提供を依頼する。	必要に応じて河川管理者に情報提供を依頼する。		必要に応じて河川管理者に情報提供を依頼する。
② 水防資機材の充実、維持や関係機関との情報共有	N,P,Q	H30年度から	水防資機材等の保有状況の情報共有を図り、必要に応じた水防資機材の充実を図る	水防資材等の保有状況の情報共有を図る予定。 （防災情報共有システム等）						水防資材について数量等の把握を行う。	水防資材について数量等の把握を行った。		水防資材の整備について、検討する。
③ 関係機関と連携した水防訓練	L,M,N,O,P,Q	継続実施	水防訓練の実施、参加及び支援			関係機関と連携し、水害を想定した訓練に取り組む。	関係自治体及び関係機関が実施する水防に関する訓練の参加及び支援を実施する。	関係自治体及び関係機関が実施する水防に関する訓練の参加及び支援を実施する。	関係自治体及び関係機関が実施する水防に関する訓練の参加及び支援を実施する。				
④ 消防団員（＝水防団員）の確保に向けた広報等	O	継続実施	リーフレットの配布やポスターの掲示										
⑤ 水防団間での連携、協力に関する検討	O	H30年度から											
②-2 市町村庁舎や災害拠点病院等の自営防衛の推進に関する事項													
① 市町村庁舎や災害拠点病院等への情報伝達や機能確保のための対策の検討	D,H	H30年度から									対象施設はなし。		情報収集中である。
③氾濫水の排水、浸水被害軽減に関する取組													
③ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組													
① 排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等	N,P,Q	H30年度から											
④河川の施設整備に関する取組													
④ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策													
① 河道掘削等の実施	R	継続実施	・安平川、知利別川、気門別川、チマイベツ川、ブウベツ川、白老川、ウヨロ川、シャマチセ川において、河道掘削、護岸整備等の河川改修を引き続き促進。 ・適切な河道の維持管理（河道掘削、伐木等）										

○概ね5年で実施する取組（令和6年度の実施結果）

項目、事項、内容	課題番号	目標時期	室蘭市	登別市	白老町	苫小牧市	安平町	室蘭市消防本部	登別市消防本部	苫小牧市消防本部	白老町消防本部	西胆振行政事務組合 消防本部	胆振東部行政事務組合 消防本部
①円滑かつ迅速な避難のための取組													
①-1 情報伝達、避難計画等に関する取組													
① 洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイミングの確認	A	H30年度から	・水位周知河川については、避難情報着目型タイムラインに基づき、現地水位情報に基づく河川管理者からの情報提供（ホットライン含む）を想定 必要に応じて、河川管理者に問い合わせを行ない情報収集 ・川の防災情報による10分毎の河川水位の確認 ・気象庁による流域雨量指数の予測値の確認	水位周知河川について、室蘭建設管理部とのホットラインの活用。 川の防災情報による10分毎の河川水位計測結果の確認。	・白老川において避難情報着目型水害対応タイムラインの策定	道管理河川におけるホットライン構築マニュアルに基づき、避難判断水位及び氾濫危険水位に達したタイミングで河川管理者より今後の水位上昇の見通し等について情報収集する他、気象状況に応じて市側より河川管理者に問い合わせを随時行ない今後の水位上昇の見込み等について情報収集。	・　安平川において避難情報着目型水害対応タイムラインを反映した地域防災計画（避難計画）の見直し ・洪水時に特化した危機管理型水位計設置に伴う河川水位情報共有（川の防災情報）						
② 避難指示等の発令対象区域、発令判断基準等の確認	B,C	H30年度から	住民への避難指示等の情報伝達方法、伝達内容について整理中である。	避難情報の発令判断・伝達マニュアルについて、適宜精査し、必要に応じて改訂をおこなう。	住民への避難指示等の情報伝達方法、伝達内容について整理中である。	住民への避難指示等の情報伝達方法、伝達内容について引き続き整理中である。	・発令対象区域の世帯数等を把握 ・避難情報発令判断のマニュアルを修正						
③ 水害危険性（浸水想定及び河川水位等の情報）の周知	D,E	H29年度から		学校や町内会等からの講話依頼に対し、洪水・土砂災害ハザードマップを活用し、水害危険性についての周知を継続しておこなう。									
④ 隣接市町村等への広域避難体制の構築	F,G,H	H30年度から	情報収集後、関係機関との調整を検討中である。 尚、河川の規模及び浸水想定区域より、広域避難を行う必要性は低いものと考えている。	情報収集後、関係機関との調整を検討中である。	情報収集後、関係機関との調整を検討中である。	情報収集後、関係機関との調整を引き続き検討中である。	情報収集を継続						
⑤ 要配慮者利用施設における避難場所の確保・訓練に関する取組を促進	j,J,K	H30年度から	避難訓練について検討中である。 避難確保計画の作成、これに伴う訓練について周知を図っている。	令和7年2月に実施する総合防災訓練において福祉避難所への移送に係る訓練を検討している。	次年度以降の避難訓練について検討中である。	次年度に地域防災計画を改訂する予定であり、その後に要配慮者利用施設における避難場所の訓練に関する取組の検討を行う予定である。	・要配慮者利用施設(2箇所)に対する避難訓練内容のアドバイスを実施	市防災対策課と連携し、訓練等に関する取り組みを促進する。		・既に避難訓練を含む防災訓練へ参加しているが、要配慮者利用施設における訓練等への支援拡充を検討する。		要配慮者利用施設における訓練等への支援	
①-2 平時からの住民への周知・教育・訓練に関する事項													
① 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図等の共有	D,E,F	H29年度から		令和6年3月に作成した洪水・土砂災害ハザードマップを活用し、想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図等の情報共有を図る。									
② ハザードマップの作成等、周知に係る取組	D,E,F	H30年度から	水位周知河川およびその他の2級河川については、作成したハザードマップを市HPに掲載して周知		作成済み	洪水・土砂災害に係るハザードマップを掲載した「防災ハンドブック」を作成し、市内全戸に配布済（令和6年3月）。中小河川の洪水ハザードマップ を新たに掲載した。	・地域ミーティングにおいて町内会、自治会等に対して周知 ・既配布のハザードマップに未記載の安平川上流部のハザードを町ホームページに掲載して周知						
③ まるごとまちごとハザードマップの促進	D,E,F	H30年度から	洪水浸水区域の地区においては、別のハザード（津波）に関する標識を設置したところであり、複数のハザードへの取組は難しいと考えている。	整備について検討中である。	整備について検討中である。	整備について引き続き検討中である。	検討を継続						
④ 住民、関係機関が連携した避難訓練等の充実	B,j,J,K	継続実施		令和7年2月に、住民、関連機関が連携した総合防災訓練を実施する。		地域住民・社会福祉施設等が実施する訓練に引続き参加するなど、避難訓練における関係機関との連携を図る。	・町内会の避難訓練に対する支援 ・要配慮者利用施設の避難訓練の立案から実施までの支援	市防災対策課と連携し講習会、研修、訓練を実施及び参加する。		・既に関係機関が連携した避難訓練を含む防災訓練へ参加しているが、更なる訓練機会の支援拡充を検討する。		講習会、研修、訓練を支援及び参加する。	
⑤ 防災教育の促進	A,D	H30年度から	教養素材を活用し、防災教育を実施する。	必要に応じて関係機関に協力を要請する。 小学生に対し、防災・減災の知識を楽しく学び、学童自主防災リーダーを育成する防災デイキャンプを実施。	必要に応じて関係機関に協力を要請する。	小・中学校、高等学校が実施する防災学習に講師として参加するなど支援を行い、防災教育の促進を図っている。	・防災教育パンフレットを取得し、町内会に対する出前講座に活用	市防災対策課と連携し実施していく。		・現在実施している避難訓練等の機会を利用し、防災の重要性を訴える。		防災教育の支援をしていく。	
①-3 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項													
① 水害リスクの高い地区に対して、洪水時の避難指示等の発令判断に活用する水位計（危機管理型）の整備	B,j,J,L	H30年度から											
② 堤防天端の保護（越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす対策）	R	継続実施											
③ 防災資材備蓄施設の整備	N	H30年度から											
④ 避難場所、避難経路の整備	E,G,H	H30年度から	避難場所については、ハザードマップに反映済	ハザードマップにも反映させることを検討中である。			・図上研究及び現地確認 ・町内会、自主防災組織等と連携した避難訓練の準備						

〇概ね5年で実施する取組（令和6年度の実施結果）

項目、事項、内容	課題番号	目標時期	室蘭市	登別市	白老町	苫小牧市	安平町	室蘭市消防本部	登別市消防本部	苫小牧市消防本部	白老町消防本部	西胆振行政事務組合 消防本部	胆振東部行政事務組合 消防本部
②的確な水防活動のための取組													
②-1 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項													
① 重要水防箇所の確認	K,L,M	H30年度から	必要に応じて河川管理者に情報提供を依頼	必要に応じて河川管理者に情報提供を依頼する。		必要に応じて河川管理者に情報提供を依頼する。	・担当者による現地確認 ・必要に応じて河川管理者に情報提供を依頼する。						
② 水防資機材の充実、維持や関係機関との情報共有	N,P,Q	H30年度から	水防資材について数量等を把握	水防資材について数量等の把握をおこなう。			水防資材について数量等を把握						
③ 関係機関と連携した水防訓練	L,M,N,O,P,Q	継続実施							消防団と連携し水防訓練を実施	・近隣で実施される水防訓練等があれば積極的に参加し、関係機関との連携を深める。		水防訓練の実施、参加	
④ 消防団員（＝水防団員）の確保に向けた広報等	O	継続実施											
⑤ 水防団間での連携、協力に関する検討	O	H30年度から											
②-2 市町村庁舎や災害拠点病院等の自営防衛の推進に関する事項													
① 市町村庁舎や災害拠点病院等への情報伝達や機能確保のための対策の検討	D,H	H30年度から	情報収集中である。	情報収集中である。	情報収集中である。		情報収集						
③氾濫水の排水、浸水被害軽減に関する取組													
③ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組													
① 排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等	N,P,Q	H30年度から											
④河川の施設整備に関する取組													
④ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策													
① 河道掘削等の実施	R	継続実施											

○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施予定）

項目、事項、内容	課題番号	目標時期	胆振総合振興局 （室蘭建設管理部含む）	室蘭開発建設部	室蘭地方気象台	北海道警察本部	室蘭警察署	伊達警察署	苫小牧警察署	豊浦町	洞爺湖町	壮瞥町	伊達市
①円滑かつ迅速な避難のための取組													
①-1 情報伝達、避難計画等に関する取組													
① 洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイミングの確認	A	H30年度から	・洪水時に特化した危機管理型水位計設置に伴う河川水位情報の提供（川の防災情報）		必要に応じたタイムライン修正等の支援					・洪水時に特化した危機管理型水位計設置に伴う河川水位情報共有（川の防災情報）。 ・貫気別川・小鉾岸については川の防災情報により水位の情報共有をする。	・洪水時に特化した危機管理型水位計設置に伴う河川水位情報共有（川の防災情報）	・タイムライン検討準備（勉強会に伴う担当者選定と各機関・市町との調整）	
② 避難指示等の発令対象区域、発令判断基準等の確認	B,C	H30年度から								令和5年度末に地域防災計画の改訂を行い、河川の浸水想定区域の設定と避難指示の発令基準を定めた。	住民への避難指示等の情報伝達方法、伝達内容について整理中である。		
③ 水害危険性（浸水想定及び河川水位等の情報）の周知	D,E	H29年度から	【水位周知河川】 ・最大規模の洪水に対する浸水想定区域図の作成、公表予定。 【その他道管理河川】 ・最大規模の洪水に対する洪水氾濫危険区域図の作成、提供。 【危機管理型水位計】 ・危機管理型水位計配置計画を順次検討・調整する。							町HPのほか、自治会や学校などの防災講話でも併せて周知を図る。			
④ 隣接市町村等への広域避難体制の構築	F,G,H	H30年度から								今のところ、被害想定から、広域の避難は想定していない。	情報収集後、関係機関との調整を検討中である。		
⑤ 要配慮者利用施設における避難場所の確保・訓練に関する取組を促進	I,J,K	H30年度から			・要望に応じて 訓練への支援実施。	警察主催による災害警備訓練実施時に、自治体や要配慮者施設等の参加・協力を得て、実戦的な要配慮者の避難支援に関する訓練に取り組む。	要配慮者利用者施設（職員、利用者）に対する、災害訓練実施支援及び防災講話等を実施し、発災時における対処能力及び平素からの防災意識の向上を図る。	要配慮者利用者施設（職員、利用者）に対する、災害訓練実施支援及び防災講話等を実施し、発災時における対処能力及び平素からの防災意識の向上を図る。	要配慮者利用者施設（職員、利用者）に対する、災害訓練実施支援及び防災講話等を実施し、発災時における対処能力及び平素からの防災意識の向上を図る。	未だ避難訓練について検討中である。	次年度以降の避難訓練について検討中である。		
①-2 平時からの住民への周知・教育・訓練に関する事項													
① 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図等の共有	D,E,F	H29年度から	【その他道管理河川】 ・最大規模の洪水に対する洪水氾濫危険区域図の作成、提供。							町HPにて公表しているが、さらに住民の集会などで周知を図る。			
② ハザードマップの作成等、周知に係る取組	D,E,F	H30年度から	市町のハザードマップ等の作成支援を行う。							高潮などを統合したハザードマップとして令和8年度の作成に向けて準備中。	ハザードマップの作成準備（ガイドブックとの統合も含め）		
③ まるごとまちごとハザードマップの促進	D,E,F	H30年度から								ハザードマップ同様に令和8年度の作成に向けて準備中。	町の「防災ガイドブック」の全面改訂を検討中		
④ 住民、関係機関が連携した避難訓練等の充実	B,I,J,K	継続実施	防災イベント等による広報活動の実施。 市町の訓練支援実施の継続。	講習会、研修、訓練を実施及び支援する予定。	・令和7年度防災情報に関する説明会実施。 ・要望に応じて訓練や研修会における講演実施。	自治体主催の防災訓練に参加するほか、警察の災害警備訓練に住民が参加する訓練を取り入れるなど、地域の災害対応能力を高める取組を行う。	関係自治体が実施する防災訓練への参加・支援を実施する。 また、自治体単位で実施する防災訓練の参加・支援や、防災講話等の実施を推進する。	関係自治体が実施する防災訓練への参加・支援を実施する。 また、自治体単位で実施する防災訓練の参加・支援や、防災講話等の実施を推進する。	関係自治体が実施する防災訓練への参加・支援を実施する。 また、自治体単位で実施する防災訓練の参加・支援や、防災講話等の実施を推進する。	未だ避難訓練について検討中である。			
⑤ 防災教育の促進	A,D	H30年度から	北海道地域防災マスターフォローアップ研修会の開催 教育素材を用いた防災教育の支援及び実施	関係機関と協力し対応する予定。	・1日防災学校等における防災講話実施		住民に対する防災教育のほか、警察署員に対する防災教育を推進し、有事の際の災害対処能力の向上を図る。	住民に対する防災教育のほか、警察署員に対する防災教育を推進し、有事の際の災害対処能力の向上を図る。	住民に対する防災教育のほか、警察署員に対する防災教育を推進し、有事の際の災害対処能力の向上を図る。	住民の集会や学校行事にて浸水想定図を利用し防災教育を実施する。	各防災学習会において、洪水を含めた防災講話を実施。		
①-3 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項													
① 水害リスクの高い地区に対して、洪水時の避難指示等の発令判断に活用する水位計（危機管理型）の整備	B,I,J,L	H30年度から	【危機管理型水位計】 ・危機管理型水位計配置計画を順次検討・調整する。										
② 堤防天端の保護（越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす対策）	R	継続実施	・安平川：引き続き堤防の天端保護（舗装）実施 ・堤防の天端保護（舗装）対象箇所の検討及び実施										
③ 防災資材備蓄施設の整備	N	H30年度から	防災資材備蓄施設の検討及び整備										
④ 避難場所、避難経路の整備	E,G,H	H30年度から								ハザードマップにも反映させることを検討中である。	ハザードマップにも反映させることを検討中である。		

○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施予定）

項目、事項、内容	課題番号	目標時期	胆振総合振興局 （室蘭建設管理部含む）	室蘭開発建設部	室蘭地方気象台	北海道警察本部	室蘭警察署	伊達警察署	苫小牧警察署	豊浦町	洞爺湖町	壮瞥町	伊達市
②的確な水防活動のための取組													
②-1 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項													
① 重要水防箇所の確認	K,L,M	H30年度から				関係機関と連携し、情報共有に努める。	重要水防施設管理者と連携した情報共有体制を構築する。	重要水防施設管理者と連携した情報共有体制を構築する。	重要水防施設管理者と連携した情報共有体制を構築する。	必要に応じて河川管理者に情報提供を依頼する。	必要に応じて河川管理者に情報提供を依頼する。		
② 水防資機材の充実、維持や関係機関との情報共有	N,P,Q	H30年度から	水防資機材等の保有状況の情報共有を図り、必要に応じた水防資機材の充実を図る	水防資材等の保有状況の情報共有を図る予定。（防災情報共有システム等） なお、壮瞥町、登別市、安平町、厚真町（メール等で共有）						水防資材について数量等の把握を行う。	水防資材について数量等の把握を行った。		
③ 関係機関と連携した水防訓練	L,M,N,O,P,Q	継続実施	水防訓練の実施、参加及び支援			関係機関と連携し、水害を想定した訓練に取り組む。	関係自治体及び関係機関が実施する水防に関する訓練の参加及び支援を実施する。	関係自治体及び関係機関が実施する水防に関する訓練の参加及び支援を実施する。	関係自治体及び関係機関が実施する水防に関する訓練の参加及び支援を実施する。				
④ 消防団員（＝水防団員）の確保に向けた広報等	O	継続実施	リーフレットの配布やポスターの掲示										
⑤ 水防団間での連携、協力に関する検討	O	H30年度から											
②-2 市町村庁舎や災害拠点病院等の自営防衛の推進に関する事項													
① 市町村庁舎や災害拠点病院等への情報伝達や機能確保のための対策の検討	D,H	H30年度から								情報収集中である。	対象施設はなし。		
③氾濫水の排水、浸水被害軽減に関する取組													
③ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組													
① 排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等	N,P,Q	H30年度から											
④河川の施設整備に関する取組													
④ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策													
① 河道掘削等の実施	R	継続実施	・安平川、知利別川、気門別川、チマイベツ川、白老川、ウヨロ川、シャマチセ川、長流川において、河道掘削、護岸整備等の河川改修を引き続き促進。 ・適切な河道の維持管理（河道掘削、伐木等）										

○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施予定）

項目、事項、内容	課題番号	目標時期	室蘭市	登別市	白老町	苫小牧市	安平町	室蘭市消防本部	登別市消防本部	苫小牧市消防本部	白老町消防本部	西胆振行政事務組合 消防本部	胆振東部行政事務組合 消防本部
①円滑かつ迅速な避難のための取組													
①-1 情報伝達、避難計画等に関する取組													
① 洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイミングの確認	A	H30年度から	・水位周知河川については、避難情報着目型タイムラインに基づき、現地水位情報に基づく河川管理者からの情報提供（ホットライン含む）を想定 必要に応じて、河川管理者に問い合わせを行ない情報収集 ・川の防災情報による10分毎の河川水位の確認 ・気象庁による流域雨量指数の予測値の確認	水位周知河川について、室蘭建設管理部とのホットラインの活用。 川の防災情報による10分毎の河川水位計測結果の確認。	・白老川において避難情報着目型水害対応タイムラインの策定	道管理河川におけるホットライン構築マニュアルに基づき、避難判断水位及び氾濫危険水位に達したタイミングで河川管理者より今後の水位上昇の見通し等について情報収集する他、気象状況に応じて市側より河川管理者に問い合わせを随時行ない今後の水位上昇の見込み等について情報収集。	・　安平川において避難情報着目型水害対応タイムラインを反映した地域防災計画（避難計画）の見直し ・洪水時に特化した危機管理型水位計設置に伴う河川水位情報共有（川の防災情報）						
② 避難指示等の発令対象区域、発令判断基準等の確認	B,C	H30年度から	住民への避難指示等の情報伝達方法、伝達内容について整理中である。	避難情報の発令判断・伝達マニュアルについて、適宜精査し、必要に応じて改訂をおこなう。	住民への伝達方法については、防災無線のほかに、今年度から、町防災アプリを開始し、、防災情報配信の多重化を図る。	住民への避難指示等の情報伝達方法、伝達内容について引き続き整理中である。	・発令対象区域の世帯数等を把握 ・避難情報発令判断のマニュアルを修正						
③ 水害危険性（浸水想定及び河川水位等の情報）の周知	D,E	H29年度から		学校や町内会等からの講話依頼に対し、洪水・土砂災害ハザードマップを活用し、水害危険性についての周知を継続しておこなう。									
④ 隣接市町村等への広域避難体制の構築	F,G,H	H30年度から	情報収集後、関係機関との調整を検討中である。 尚、河川の規模及び浸水想定区域より、広域避難を行う必要性は低いものと考えている。	情報収集後、関係機関との調整を検討中である。	情報収集後、関係機関との調整を検討中である。	情報収集後、関係機関との調整を引き続き検討中である。	情報収集を継続						
⑤ 要配慮者利用施設における避難場所の確保・訓練に関する取組を促進	j,J,K	H30年度から	避難訓練について検討中である。 避難確保計画の作成、これに伴う訓練について周知を図っている。	令和7年度の要配慮者における避難訓練については検討中である。	次年度以降の避難訓練について検討中である。	現在、地域防災計画を改訂する予定であり、その後に要配慮者利用施設における避難場所の訓練に関する取組の検討を行う予定である。	・要配慮者利用施設(2箇所)に対する避難訓練内容のアドバイスを実施 ・要配慮者利用施設と共同に酔避難訓練（情報伝達訓練）を実施	市防災対策課と連携し、訓練等に関する取り組みを促進する。		・既に避難訓練を含む防災訓練へ参加しているが、要配慮者利用施設における訓練等への支援拡充を検討する。		要配慮者利用施設における訓練等への支援	
①-2 平時からの住民への周知・教育・訓練に関する事項													
① 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図等の共有	D,E,F	H29年度から		令和6年3月に作成した洪水・土砂災害ハザードマップを活用し、想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図等の情報共有を図る。									
② ハザードマップの作成等、周知に係る取組	D,E,F	H30年度から	水位周知河川およびその他の2級河川については、作成したハザードマップを市HPに掲載して周知		作成済み	出前講座等防災学習の機会にあわせ周知している	・地域ミーティングにおいて町内会、自治会等に対して周知 ・既配布のハザードマップに未記載の安平川上流部のハザードを町ホームページに掲載して周知						
③ まるごとまちごとハザードマップの促進	D,E,F	H30年度から	洪水浸水区域の地区においては、別のハザード（津波）に関する標識を設置したところであり、複数のハザードへの取組は難しいと考えている。	整備について検討中である。	整備について検討中である。	整備について引き続き検討中である。	検討を継続						
④ 住民、関係機関が連携した避難訓練等の充実	B,j,J,K	継続実施	洪水災害を想定した訓練を実施する予定	令和7年9月に、住民及び関係機関が連携した全市一斉防災避難訓練を実施。	中学校における防災授業及び町内会での防災訓練の実施	風水害を想定した総合防災訓練の実施を予定しており、住民及び関係機関の参加も予定されている。 また同時に宿泊訓練も行い、課題を検証していく	・町内会の避難訓練に対する支援 ・要配慮者利用施設の避難訓練の立案から実施までの支援	市防災対策課と連携し講習会、研修、訓練を実施及び参加する。		・既に関係機関が連携した避難訓練を含む防災訓練へ参加しているが、更なる訓練機会の支援拡充を検討する。		講習会、研修、訓練を支援及び参加する。	
⑤ 防災教育の促進	A,D	H30年度から	教養素材を活用し、防災教育を実施する。	必要に応じて関係機関に協力を要請する。 小学生に対し、防災・減災の知識を楽しく学び、学童自主防災リーダーを育成する防災デイキャンプを実施。	必要に応じて関係機関に協力を要請する。	小・中学校、高等学校が実施する防災学習に講師として参加するなど支援を行い、防災教育の促進を図っている。	・防災教育パンフレットを取得し、町内会に対する出前講座に活用 ・自主防災組織研究会を実施し、自主防災組織の活動の活性化を図る。	市防災対策課と連携し実施していく。		・現在実施している避難訓練等の機会を利用し、防災の重要性を訴える。		防災教育の支援をしていく。	
①-3 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項													
① 水害リスクの高い地区に対して、洪水時の避難指示等の発令判断に活用する水位計（危機管理型）の整備	B,j,J,L	H30年度から											
② 堤防天端の保護（越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす対策）	R	継続実施											
③ 防災資材備蓄施設の整備	N	H30年度から											
④ 避難場所、避難経路の整備	E,G,H	H30年度から	避難場所については、ハザードマップに反映済	ハザードマップにも反映させることを検討中である。			・図上研究及び現地確認 ・町内会、自主防災組織等と連携した避難訓練の準備						

〇概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施予定）

項目、事項、内容	課題番号	目標時期	室蘭市	登別市	白老町	苫小牧市	安平町	室蘭市消防本部	登別市消防本部	苫小牧市消防本部	白老町消防本部	西胆振行政事務組合 消防本部	胆振東部行政事務組合 消防本部
②的確な水防活動のための取組													
②-1 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項													
① 重要水防箇所の確認	K,L,M	H30年度から	必要に応じて河川管理者に情報提供を依頼	必要に応じて河川管理者に情報提供を依頼する。		必要に応じて河川管理者に情報提供を依頼する。	・担当者による現地確認 ・必要に応じて河川管理者に情報提供を依頼する。						
② 水防資機材の充実、維持や関係機関との情報共有	N,P,Q	H30年度から	水防資材について数量等を把握	水防資材について数量等の把握をおこなう。		水防資材について数量等の把握する	水防資材について数量等を把握						
③ 関係機関と連携した水防訓練	L,M,N,O,P,Q	継続実施								・近隣で実施される水防訓練等があれば積極的に参加し、関係機関との連携を深める。	関係機関と連携した水防訓練の実施、参加	水防訓練の実施、参加	
④ 消防団員（＝水防団員）の確保に向けた広報等	O	継続実施									リーフレットの配布やポスター及びホームページの掲示		
⑤ 水防団間での連携、協力に関する検討	O	H30年度から											
②-2 市町村庁舎や災害拠点病院等の自営防衛の推進に関する事項													
① 市町村庁舎や災害拠点病院等への情報伝達や機能確保のための対策の検討	D,H	H30年度から	情報収集中である。	情報収集中である。	情報収集中である。		情報収集						
③氾濫水の排水、浸水被害軽減に関する取組													
③ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組													
① 排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等	N,P,Q	H30年度から											
④河川の施設整備に関する取組													
④ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策													
① 河道掘削等の実施	R	継続実施											

胆振総合振興局管内河川流域の減災に関する取組方針　フォローアップと取組方針の更新

- - - - - 上段：方針とりまとめ時の予定
——— 下段：着手状況

大項目	中項目	小項目	取組機関	目標時期	スケジュール（上段：計画、下段：実績）					R6取組内容	R7取組予定	取組に向けた課題等
					R4	R5	R6	R7	R8			
①円滑かつ迅速な避難のための取組	①-1 情報伝達、避難計画等に関する取組	① 洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイミングの確認	胆振総合振興局、室蘭地方気象台、各市町	H30年度から実施						・洪水時に特化した危機管理型水位計設置に伴う河川水位情報の提供（川の防災情報）【室蘭建設管理部、豊浦町、洞爺湖町、伊達市、室蘭市、登別市、安平町】 ・必要に応じたタイムライン修正等の支援【室蘭地方気象台】 ・水位周知河川について、室蘭建設管理部とのホットラインの活用【室蘭市、登別市、苫小牧市】 ・白老川において避難情報着目型水害対応タイムラインの策定 【白老町】 ・安平川において避難情報着目型水害対応タイムラインを反映した地域防災計画（避難計画）の見直し【安平町】	・洪水時に特化した危機管理型水位計設置に伴う河川水位情報の提供（川の防災情報）【室蘭建設管理部、豊浦町、洞爺湖町、伊達市、室蘭市、登別市、安平町】 ・必要に応じたタイムライン修正等の支援【室蘭地方気象台】 ・水位周知河川について、室蘭建設管理部とのホットラインの活用【室蘭市、登別市、苫小牧市】 ・白老川において避難情報着目型水害対応タイムラインの策定 【白老町】 ・安平川において避難情報着目型水害対応タイムラインを反映した地域防災計画（避難計画）の見直し【安平町】 ・タイムライン検討準備（勉強会に伴う担当者選定と各機関・市町との調整）【壮瞥町】	
		② 避難指示等の発令対象区域、発令判断基準等の確認	各市町	H30年度から実施						・住民への避難指示等の情報伝達方法、伝達内容について整理中【洞爺湖町、伊達市、室蘭市、白老町、苫小牧市】 ・地域防災計画の改定を行い、河川の浸水想定区域の設定と避難指示の発令基準を設定【豊浦町】 ・避難情報の発令判断・伝達マニュアルについて、適宜精査【登別市】 ・発令対象区域の世帯数等を把握し、避難情報発令判断のマニュアルを修正【安平町】	・住民への避難指示等の情報伝達方法、伝達内容について整理中【洞爺湖町、伊達市、室蘭市、苫小牧市】 ・住民への伝達方法については、防災無線のほかに、今年度から、町防災アプリを開始し、防災情報配信の多重化を図る。【白老町】 ・地域防災計画の改定を行い、河川の浸水想定区域の設定と避難指示の発令基準を設定【豊浦町】 ・避難情報の発令判断・伝達マニュアルについて、適宜精査【登別市】 ・発令対象区域の世帯数等を把握し、避難情報発令判断のマニュアルを修正【安平町】	
		③ 水害危険性（浸水想定及び河川水位等の情報）の周知	胆振総合振興局	H29年度から実施						・水位周知河川：最大規模の洪水に対する浸水想定区域図の作成、公表。 ・その他道管理河川：最大規模の洪水に対する洪水氾濫危険区域図の作成、提供 ・危機管理型水位計：危機管理型水位計配置計画を順次検討・調整【室蘭建設管理部】 ・市町村の防災担当者と大雨事例における対応の振り返りを行い、意見交換を実施【室蘭地方気象台】 ・町HPにて周知を行っているが、令和7年度に作成予定のハザードマップにて更なる周知を行う予定【豊浦町】 ・学校や町内会等からの講話依頼に対し、洪水・土砂災害ハザードマップを活用し、水害危険性についての周知を継続【登別市】 ・市町村の防災担当者と大雨事例における対応の振り返りを行い、意見交換を実施。【室蘭地方気象台】	・水位周知河川：最大規模の洪水に対する浸水想定区域図の作成、公表。 ・その他道管理河川：最大規模の洪水に対する洪水氾濫危険区域図の作成、提供 ・危機管理型水位計：危機管理型水位計配置計画を順次検討・調整【室蘭建設管理部】 ・町HPのほか、自治会や学校などの防災講話でも併せて周知を図る。【豊浦町】 ・学校や町内会等からの講話依頼に対し、洪水・土砂災害ハザードマップを活用し、水害危険性についての周知を継続【登別市】	
		④ 隣接市町村等への広域避難体制の構築	各市町	H30年度から実施						・情報収集後、関係機関との調整を検討中【洞爺湖町、伊達市、室蘭市、登別市、白老町、苫小牧市、安平町】	・情報収集後、関係機関との調整を検討中【洞爺湖町、伊達市、室蘭市、登別市、白老町、苫小牧市、安平町】	
		⑤ 要配慮者利用施設における避難場所の確保・訓練に関する取組を促進	胆振総合振興局、室蘭地方気象台、各警察署、各市町、各消防本部	H30年度から実施						・要望に応じて 訓練への支援実施【室蘭地方気象台】 ・警察主催による災害警備訓練実施時に、自治体や要配慮者施設等の参加・協力を得て、実戦的な要配慮者の避難支援に関する訓練に取り組む【北海道警察本部】 ・要配慮者利用者施設（職員、利用者）に対する、災害訓練実施支援及び防災講話等を実施し、発災時における対処能力及び平素からの防災意識の向上を図る【室蘭警察署、伊達警察署、苫小牧警察署】 ・避難訓練について検討中【豊浦町、洞爺湖町、伊達市、室蘭市、白老町】 ・避難確保計画の作成、これに伴う訓練について周知を図っている。【室蘭市】 ・令和7年2月に実施する総合防災訓練において福祉避難所への移送に係る訓練を検討【登別市】 ・次年度に地域防災計画を改訂する予定であり、その後に要配慮者利用施設における避難場所の訓練に関する取組の検討を行う予定【苫小牧市】 ・要配慮者利用施設(2箇所）に対する避難訓練内容のアドバイスを実施【安平町】 ・市防災対策課と連携し、訓練等に関する取り組みを促進【室蘭市消防本部】 ・既に避難訓練を含む防災訓練へ参加しており、要配慮者利用施設における訓練等への支援拡充を検討【苫小牧市消防本部】 ・要配慮者利用施設における訓練等への支援【西胆振行政事務組合消防本部】	・要望に応じて 訓練への支援実施【室蘭地方気象台】 ・警察主催による災害警備訓練実施時に、自治体や要配慮者施設等の参加・協力を得て、実戦的な要配慮者の避難支援に関する訓練に取り組む【北海道警察本部】 ・要配慮者利用者施設（職員、利用者）に対する、災害訓練実施支援及び防災講話等を実施し、発災時における対処能力及び平素からの防災意識の向上を図る【室蘭警察署、伊達警察署、苫小牧警察署】 ・避難訓練について検討中【豊浦町、洞爺湖町、伊達市、室蘭市、白老町】 ・避難確保計画の作成、これに伴う訓練について周知を図っている。【室蘭市】 ・令和7年度の要配慮者における避難訓練については検討中【登別市】 ・現在、地域防災計画を改訂する予定であり、その後に要配慮者利用施設における避難場所の訓練に関する取組の検討を行う予定【苫小牧市】 ・要配慮者利用施設(2箇所）に対する避難訓練内容のアドバイスを実施。要配慮者利用施設と共同に酔避難訓練（情報伝達訓練）を実施【安平町】 ・市防災対策課と連携し、訓練等に関する取り組みを促進【室蘭市消防本部】 ・既に避難訓練を含む防災訓練へ参加しており、要配慮者利用施設における訓練等への支援拡充を検討【苫小牧市消防本部】 ・要配慮者利用施設における訓練等への支援【西胆振行政事務組合消防本部】	
	①-2 平時からの住民への周知・教育・訓練に関する事項	① 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図等の共有	胆振総合振興局	H29年度から実施						・町のHPにて公表しているが、令和7年度のハザードマップ作製により、更なる周知を行えるように準備中【豊浦町】 ・令和6年3月に作成した洪水・土砂災害ハザードマップを活用し、想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図等の情報共有【登別市】	・その他道管理河川：最大規模の洪水に対する洪水氾濫危険区域図の作成、提供【室蘭建設管理部】 ・町HPにて公表しているが、さらに住民の集会などで周知を図る。【豊浦町】 ・令和6年3月に作成した洪水・土砂災害ハザードマップを活用し、想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図等の情報共有【登別市】	
		② ハザードマップの作成等、周知に係る取組	胆振総合振興局、各市町	H30年度から実施						・町のハザードマップ等の作成支援【胆振総合振興局】 ・作成に向けて準備中【豊浦町、洞爺湖町、伊達市】 ・洪水・土砂災害に係るハザードマップを掲載した「防災ハンドブック」を作成し、市内全戸に配布済（令和6年3月）。中小河川の洪水ハザードマップを新たに掲載【苫小牧市】 ・地域ミーティングにおいて町内会、自治会等に対して周知するほか、既配布のハザードマップに未記載の安平川上流部のハザードを町ホームページに掲載して周知【安平町】	・町のハザードマップ等の作成支援【胆振総合振興局】 ・高潮などを統合したハザードマップとして令和8年度の作成に向けて準備中。【豊浦町】 ・作成に向けて準備中【洞爺湖町、伊達市】 ・出前講座等防災学習の機会にあわせ周知している【苫小牧市】 ・地域ミーティングにおいて町内会、自治会等に対して周知するほか、既配布のハザードマップに未記載の安平川上流部のハザードを町ホームページに掲載して周知【安平町】	
		③ まるごとまちごとハザードマップの促進	各市町	H30年度から実施						・令和7年度の作成に向けて準備中【豊浦町、洞爺湖町】 ・整備について検討中【洞爺湖町、伊達市、登別市、白老町、苫小牧市、安平町】	・令和7年度の作成に向けて準備中【豊浦町、洞爺湖町】 ・整備について検討中【伊達市、登別市、白老町、苫小牧市、安平町】 ・町の「防災ガイドブック」の全面改訂を検討中【洞爺湖町】	
		④ 住民、関係機関が連携した避難訓練等の充実	胆振総合振興局、室蘭地方気象台、各警察署、各市町、各消防本部	継続実施						・防災イベントによるパネル展を通じた広報活動の実施【胆振総合振興局】 ・講習会、研修、訓練の実施及び支援【胆振総合振興局、室蘭開発建設部、西胆振行政事務組合消防本部】 ・防災情報に関する説明会・講演実施【室蘭地方気象台】 ・自治体主催の防災訓練に参加、警察の災害警備訓練に住民が参加する訓練を取り入れ【北海道警察本部】 ・関係自治体が実施する防災訓練への参加・支援。自治体単位で実施する防災訓練の参加・支援や、防災講話等の実施を推進【室蘭警察署、伊達警察署、苫小牧警察署】 ・避難訓練について検討中【豊浦町】 ・令和7年2月に、住民、関連機関が連携した総合防災訓練を実施【登別市】 ・地域住民・社会福祉施設等が実施する訓練に引続き参加するなど、避難訓練における関係機関との連携を図る【苫小牧市】 ・町内会の避難訓練に対する支援。要配慮者利用施設の避難訓練の立案から実施までの支援【安平町】 ・市防災対策課と連携し講習会、研修、訓練を実施及び参加【室蘭市消防本部】 ・関係機関が連携した避難訓練を含む防災訓練へ参加しており、更なる訓練機会の支援拡充を検討【苫小牧市消防本部】	・防災イベントによるパネル展を通じた広報活動の実施【胆振総合振興局】 ・講習会、研修、訓練の実施及び支援【胆振総合振興局、室蘭開発建設部、西胆振行政事務組合消防本部】 ・防災情報に関する説明会・講演実施【室蘭地方気象台】 ・自治体主催の防災訓練に参加、警察の災害警備訓練に住民が参加する訓練を取り入れ【北海道警察本部】 ・関係自治体が実施する防災訓練への参加・支援。自治体単位で実施する防災訓練の参加・支援や、防災講話等の実施を推進【室蘭警察署、伊達警察署、苫小牧警察署】 ・避難訓練について検討中【豊浦町】 ・洪水災害を想定した訓練を実施する予定【室蘭市】 ・令和7年9月に、住民及び関係機関が連携した全市一斉防災避難訓練を実施。【登別市】 ・中学校における防災授業及び町内会での防災訓練の実施【白老町】 ・風水害を想定した総合防災訓練の実施を予定しており、住民及び関係機関の参加も予定されている。また同時に宿泊訓練も行い、課題を検証していく【苫小牧市】 ・町内会の避難訓練に対する支援。要配慮者利用施設の避難訓練の立案から実施までの支援【安平町】 ・市防災対策課と連携し講習会、研修、訓練を実施及び参加【室蘭市消防本部】 ・関係機関が連携した避難訓練を含む防災訓練へ参加しており、更なる訓練機会の支援拡充を検討【苫小牧市消防本部】	

胆振総合振興局管内河川流域の減災に関する取組方針　フォローアップと取組方針の更新

- - - - - 上段：方針とりまとめ時の予定
——— 下段：着手状況

大項目	中項目	小項目	取組機関	目標時期	スケジュール（上段：計画、下段：実績）					R6取組内容	R7取組予定	取組に向けた課題等
					R4	R5	R6	R7	R8			
①円滑かつ迅速な避難のための取組	①-2 平時からの住民への周知・教育・訓練に関する事項	⑤ 防災教育の促進	胆振総合振興局、室蘭開発建設部、室蘭地方気象台、各警察署、各町、各消防本部	H30年度から実施						・北海道地域防災マスター認定研修会の開催 ・教育素材を活用し、防災教育の支援及び実施、地域防災ミーティングを計画【胆振総合振興局】 ・関係機関と協力し対応【室蘭開発建設部】 ・1日防災学校等における防災講話実施【室蘭地方気象台】 ・住民に対する防災教育のほか、警察署員に対する防災教育を推進し、有事の際の災害対処能力の向上【室蘭警察署、伊達警察署、苫小牧警察署】 ・検討中【豊浦町】 ・各防災学習会において、洪水を含めた防災講話を実施【洞爺湖町】 ・小学校及び自治会、PTA連合会での防災教育の場を活用した火山噴火以外（洪水、土砂災害）の災害について言及【壮瞥町】 ・関係機関と協力し、市内各小・中学校において、防災教室を実施【伊達市】 ・教養素材を活用し、防災教育を実施【室蘭市】 ・必要に応じて関係機関に協力を要請【登別市・白老町」 ・小学生に対し、防災・減災の知識を楽しく学び、学童自主防災リーダーを育成する防災デイキャンプを実施【登別市】 ・小・中学校、高等学校が実施する防災学習に講師として参加するなど支援を行い、防災教育の促進【苫小牧市】 ・防災教育パンフレットを取得し、町内会に対する出前講座に活用【安平町】 ・市防災対策課と連携し実施【室蘭市消防本部】 ・現在実施している避難訓練等の機会を利用し、防災の重要性を訴える【苫小牧市消防組合】 ・防災教育の支援【西胆振行政事務組合消防本部】	・北海道地域防災マスター認定研修会の開催 ・教育素材を活用し、防災教育の支援及び実施、地域防災ミーティングを計画【胆振総合振興局】 ・関係機関と協力し対応【室蘭開発建設部】 ・1日防災学校等における防災講話実施【室蘭地方気象台】 ・住民に対する防災教育のほか、警察署員に対する防災教育を推進し、有事の際の災害対処能力の向上【室蘭警察署、伊達警察署、苫小牧警察署】 ・住民の集会や学校行事にて浸水想定図を利用し防災教育を実施する【豊浦町】 ・各防災学習会において、洪水を含めた防災講話を実施【洞爺湖町】 ・関係機関と協力し、市内各小・中学校において、防災教室を実施【伊達市】 ・教養素材を活用し、防災教育を実施【室蘭市】 ・必要に応じて関係機関に協力を要請【登別市・白老町」 ・小学生に対し、防災・減災の知識を楽しく学び、学童自主防災リーダーを育成する防災デイキャンプを実施【登別市】 ・小・中学校、高等学校が実施する防災学習に講師として参加するなど支援を行い、防災教育の促進【苫小牧市】 ・防災教育パンフレットを取得し、町内会に対する出前講座に活用。自主防災組織研究会を実施し、自主防災組織の活動の活性化を図る。【安平町】 ・市防災対策課と連携し実施【室蘭市消防本部】 ・現在実施している避難訓練等の機会を利用し、防災の重要性を訴える【苫小牧市消防組合】 ・防災教育の支援【西胆振行政事務組合消防本部】	
	①-3 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項	① 水害リスクの高い地区に対して、洪水時の避難指示等の発令判断に活用する水位計（危機管理型）の整備	胆振総合振興局	H30年度から実施						・危機管理型水位計配置計画を順次検討・調整【室蘭建設管理部】	・危機管理型水位計配置計画を順次検討・調整【室蘭建設管理部】	
		② 堤防天端の保護（越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす対策）	胆振総合振興局	継続実施						・安平川：引き続き堤防の天端保護（舗装）実施。堤防の天端保護（舗装）対象箇所の検討及び実施【室蘭建設管理部】	・安平川：引き続き堤防の天端保護（舗装）実施。堤防の天端保護（舗装）対象箇所の検討及び実施【室蘭建設管理部】	
		③ 防災資材備蓄施設の整備	胆振総合振興局	H30年度から実施						・防災資材備蓄施設の検討及び整備【室蘭建設管理部】	・防災資材備蓄施設の検討及び整備【室蘭建設管理部】	
		④ 避難場所、避難経路の整備	各市町	H30年度から実施						・ハザードマップにも反映させることを検討中【豊浦町、洞爺湖町、伊達市、登別市】 ・図上研究及び現地確認。町内会、自主防災組織等と連携した避難訓練の準備【安平町】	・ハザードマップにも反映させることを検討中【豊浦町、洞爺湖町、伊達市、登別市】 ・図上研究及び現地確認。町内会、自主防災組織等と連携した避難訓練の準備【安平町】	
②的確な水防活動のための取組	②-1 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項	① 重要水防箇所の確認	胆振総合振興局、各警察署、各市町	H30年度から実施						・関係機関と連携し、情報共有【北海道警察本部】 ・重要水防施設管理者と連携した情報共有体制を構築【室蘭警察署、伊達警察署、苫小牧警察署】 ・必要に応じて河川管理者に情報提供を依頼【豊浦町、洞爺湖町、伊達市、室蘭市、登別市、苫小牧市、安平町】 ・担当者による現地確認【安平町】	・関係機関と連携し、情報共有【北海道警察本部】 ・重要水防施設管理者と連携した情報共有体制を構築【室蘭警察署、伊達警察署、苫小牧警察署】 ・必要に応じて河川管理者に情報提供を依頼【豊浦町、洞爺湖町、伊達市、室蘭市、登別市、苫小牧市、安平町】 ・担当者による現地確認【安平町】	
		② 水防資機材の充実、維持や関係機関との情報共有	胆振総合振興局、室蘭開発建設部、各市町	H30年度から実施						・水防資材等の保有状況の情報共有【胆振総合振興局、室蘭開発建設部】 ・水防資材について数量等を把握【豊浦町、洞爺湖町、伊達市、室蘭市、登別市、安平町】	・水防資材等の保有状況の情報共有【胆振総合振興局、室蘭開発建設部】 ・水防資材について数量等を把握【豊浦町、洞爺湖町、伊達市、室蘭市、登別市、苫小牧市、安平町】	
		③ 関係機関と連携した水防訓練	胆振総合振興局、各警察署、各市町、各消防本部	継続実施						・水防訓練の実施、参加及び支援【胆振総合振興局】 ・関係機関と連携し、水害を想定した訓練の実施【北海道警察本部】 ・関係自治体及び関係機関が実施する水防に関する訓練の参加及び支援を実施【室蘭警察署、伊達警察署、苫小牧警察署】 ・消防団と連携し水防訓練を実施【登別市消防本部】 ・近隣で実施される水防訓練等があれば積極的に参加し、関係機関との連携を深める【苫小牧市消防本部】 ・水防訓練の実施、参加【西胆振行政事務組合消防本部】	・水防訓練の実施、参加及び支援【胆振総合振興局】 ・関係機関と連携し、水害を想定した訓練の実施【北海道警察本部】 ・関係自治体及び関係機関が実施する水防に関する訓練の参加及び支援を実施【室蘭警察署、伊達警察署、苫小牧警察署】 ・近隣で実施される水防訓練等があれば積極的に参加し、関係機関との連携を深める【苫小牧市消防本部】 ・関係機関と連携した水防訓練の実施、参加【白老町消防本部】 ・水防訓練の実施、参加【西胆振行政事務組合消防本部】	
		④ 消防団員（＝水防団員）の確保に向けた広報等	胆振総合振興局、各市町	継続実施						・リーフレットの配布やポスターの掲示【胆振総合振興局】	・リーフレットの配布やポスターの掲示【胆振総合振興局】 ・リーフレットの配布やポスター及びホームページの掲示【白老町消防本部】	
		⑤ 水防団間での連携、協力に関する検討	苫小牧市	H30年度から実施								
	②-2 市町村庁舎や災害拠点病院等の自営防衛の推進に関する事項	① 市町村庁舎や災害拠点病院等への情報伝達や機能確保のための対策の検討	各市町	H30年度から実施						・情報収集中【伊達市、室蘭市、登別市、白老町、安平町】	・情報収集中【豊浦町、伊達市、室蘭市、登別市、白老町、安平町】	
③氾濫水の排水、浸水被害軽減に関する取組	③ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組	① 排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等	胆振総合振興局、各市町	H30年度から実施								
④河川の施設整備に関する取組	④ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策	① 河道掘削等の実施	胆振総合振興局	継続実施						・安平川、知利別川、気門別川、チマイベツ川、ブウベツ川、白老川、ウヨロ川、シャミチセ川において、河道掘削、護岸整備等の河川改修を引き続き促進。適切な河道の維持管理（河道掘削、伐木等）【室蘭建設管理部】	・安平川、知利別川、気門別川、チマイベツ川、白老川、ウヨロ川、シャミチセ川、長流川において、河道掘削、護岸整備等の河川改修を引き続き促進。適切な河道の維持管理（河道掘削、伐木等）【室蘭建設管理部】	